

秋の野山の主役たち



目次

- ② 議長就任あいさつ
議会報告・意見交換会の開催
- ③ 各委員会報告
- ⑧ 行政視察報告
- ⑨ 一般質問（個人質問）
- ⑯ 12月定例会（予定）
- ⑰ 9月定例会審議結果
- ⑱ 市民の声・編集後記

2024年11月

第27号

 にいみ

市議会だより

新見市議会広報紙 9月定例会

議会が変われば まちが変わる

議長就任あいさつ



新見市議会
議長 古川 英明

9月定例会最終日、8月に実施された総務消防常任委員会の行政視察中の一連の行動が議長として不適切であったとして、前議長より辞表が提出されました。これを受け、新たに議長選を実施することとなり、指名推薦により、議長に就任いたしました。

現在、私も議会は、全議員参加のもと、開かれた議会の在り方や新見市の将来に必要なと思われる施策を探索するため、次のような議会活動に取り組んでおります。

①議員のなり手不足検討特別委員会を設け、ハラスメント防止のため、本市独自のハラスメント条例制定に向けて協議。より良い議会の在り方を目指して、市民の意見を求める

議会モニター制度導入について研究協議

②JRRローカル線利用促進・存続問題検討特別委員会において、関係自治体の議会と連携し、国や県への働きかけを強化

③議会報告会(意見交換会)の抜本的見直しを行い、昨年度に引き続きテーマを設定し、より多くの市民の皆様の意見を聴取し、議会活動に反映(本年度のテーマは、「女性が生き生きと輝くまちづくり」で、11月8日、9日に実施予定)

④本会議をYouTube配信し、議員個々の質問の様子が見える化(将来的には、委員会の様子も情報公開していきたいと考えています。)

突然の議長交代で、ご心配をおかけいたしました。これを機に、市民の皆様の付託に応えるべく、議員全員、いっそう精進する所存であります。どうかご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度 新見市議会報告・意見交換会

女性が生き生きと 輝けるまちづくり

～女性の視点から考える 家庭、地域、社会～

本年度は、『女性が生き生きと輝けるまちづくり』というテーマを設定し、家庭や地域、社会における女性の現状・課題等について、ワークショップ形式で気軽に話せる会を計画しました。皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時

- 11月8日(金) 10:00～12:00 (午前の部)
18:30～20:30 (午後の部)
- 11月9日(土) 10:00～12:00 (午前の部)
18:30～20:30 (午後の部)

※いずれの日時にお越しいただいても結構です。

開催場所

新見市役所南庁舎 (3階)

参加対象者

市内在住の女性 (男性もお越しください)

問い合わせ先

新見市議会事務局 TEL: 0867-72-6151

ご参加ください!!



各委員会報告

消防委員会 総務常任委員会

寄附金により児童、生徒及び学生の学力向上を図る基金を設置

9月9日、18日に総務消防常任委員会を開催し、付託された議案等の審査を行いました。

付託事件の審査

【議案の部】

●条例第35号 新見市2024かしのき基金条例

山佐産業株式会社からの10億円の寄附金を受け、市内の小中学校、高校及び新見公立大学の児童、生徒及び学生の学力向上などを図るための基金を設置する条例です。

委員問

この基金を活用した事業はいつから始まるのか。

答弁

事業の開始は、来年度からを想定している。

委員問

基金の使途について

て、大人が考えて行うより、高校生、大学生等の意見も反映して欲しいと思っているが、どう考えているのか。

答弁

児童、生徒、学生に有効に活用したいと考えており、高校生、大学生等からの意見を聞いていきたい。

委員問

基金条例の使途について、「支援及び学力を向上させるための事業」とあるが、具体的にはどのような支援、事業を考えているのか。また、応募があった場合どこまでの範囲を支援とみなすのか。

答弁

学力向上に結びつくような取組を行う。また、学力向上だけではなく、児童、生徒、学生のためになる支援ができればと考えているが、具体的なものは未定である。

委員問

申し込みは団体なのか、個人でもよいのか。

答弁

学校単位を想定しているが、取組内容が個々にな

るものについては、随時検討したい。

結果

本市の次代を担う子どもたちの健全育成、学力向上に繋がるよう、大いに期待するという賛成討論があり、全会一致で原案のとおり可決することに決定しました。

報告事項について

●新見市土地開発公社の分譲地について

西方郷原団地の一区画の申し込みがあり、この度、分譲契約を締結し、残り一区画となった。小岸住宅団地は残り4区画となる。

委員問

小岸の4区画が残っているとのことだが、価格を安く設定してはどうかとの一般質問が以前あったが、どう考えているのか。

答弁

分譲地の価格については、令和3年度に見直しをしている。それ以降、問い合わせが増えてきている。



その他の審査事項

令和6年8月5日、6日に実施された総務消防常任委員会の行政視察に同行した榎議長（当時）の行動について問題提起がなされ、事情を聴取し、不適切な行為であったとの指摘を行いました。

文教福祉委員会 総務常任委員会

国に教職員の勤務状況改善を求める陳情を採択

文教福祉常任委員会を9月10日に開催し、付託された議案等の審査を行いました。

付託事件の審査

【議案の部】

●条例第37号 新見市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例

●議案第10号 岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

条例第37号及び議案第10号については、マイナンバーカードの健康保険証利用で全

国的にトラブルが報告されていることや、高齢者にとってマイナナンバーカードの健康保険証利用への移行は負担が大ききく、その利用率も1割程度にとどまっていることから、反対討論もありましたが、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。



【請願・陳情の部】

●陳情第15号 「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について

全会一致で採択し、国に対する意見書（案）を発議しました。

報告事項について

●環境課：プラスチック類の分別収集開始について

これまで、プラスチック類の分別収集の検証を行い、リサイクルのめどが付いたこと

から、令和7年4月から市内全域のゴミステーションで分別収集を開始することにした。

●子育て支援課：赤ちゃんの駅事業について

乳幼児とその保護者の子育てを支援する取組として、外出中に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換ができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録する。登録施設はホームページやまちナビ、公式LINEなどで広く周知する。

●健康医療課：にいまママ・サポート119事業について

本事業は安心して妊娠及び出産ができる体制を整備するため、妊婦を救急車で産科医療機関まで搬送するものであり、10月から開始する。



調査事件について

委員問 出産に対して、にいまママ・サポート119の他に検討していることはないか。

答弁 経済的支援として、来年度からは市外の病院への通院費の補助や、遠距離の場合の事前の宿泊代などの費用の補助を検討している。

建設委員会 産業常任委員会

除雪トラック買い入れを審査

付託事件の審査

【議案の部】

●議案第11号・議案第14号

会期中9月11日、25日に審査を行なった結果、付託された2議案については原案のとおり可決しました。質疑があった主な議案は次のとおりです。

●議案第14号 動産（除雪トラック）の買い入れについて

動産（除雪トラック）を買い入れることについて、地方自治法及び条例に基づき議会

の議決を求めるものです。この動産については、指名競争入札により、株式会社自光モータース（代表取締役 岡崎平氏）から19994万9千円で買い入れることとなりました。

委員問 買い入れ予算について確認したい。

答弁 社会資本整備総合交付金と過疎債を充当する。

委員問 保有車両の買い換えであるのか。

答弁 新たに追加購入し、除雪体制を増強するもので、北部（高瀬方面）に配置する予定である。

報告事項について

執行部からの主な報告事項は次のとおりです。

●農業畜産振興課：台風10号による被害状況

農地及び農業用施設併せて67件の被災報告が上がっている。

●農業畜産振興課：米の引き渡し概算金

令和6年コシヒカリ概算金が2万1000円となり、前年より7800円上昇した。



●建設課：台風10号による被害状況
市道と管理県道について62件、河川32件の被災報告が上がっている。

調査事件について

●金谷地域整備について

●委員問 金谷地域の土地区画整備事業について、地元とどのように協議を行っているか。

●答弁 地権者には丁寧の説明し、協議を行った。周辺住民にも、説明会を開いて詳細な説明を行っている。今後、事業計画について縦覧を行い、説明会を実施する予定である。

●有害鳥獣被害対策について

●委員問 サルの被害が増えてきているようだが、対策は。

●答弁 今年は特に被害が増えている。地区での追い払いや集落単位での取組を積極的に進めたい。

●千屋牛振興について

●委員問 和牛育成関連の助成金について、5年間保有しないといけないという条件は守られているのか。

●答弁 令和5年度中に、和牛改良事業助成金について11頭、千屋牛生産振興奨励金について6頭、計17頭に関して返還申し出があった。返還の主な理由は、①受胎不良、②死亡、③飼育不能になったである。

●耕作放棄地対策について

●委員問 今後、耕作放棄地の再利用をどうしていくのか。

●答弁 現状では、具体的な対策はない。稼げる農業に農地を利活用し、園芸作物への転換も進め、荒廃地や放棄地を減少させていきたいと考えられている。



荒れた耕作放棄地

予算決算 常任委員会

新たな教育基金創設・積立のための予算を含む、22億4887万7千円の補正予算を可決

予算決算常任委員会を9月12日、13日、25日に開催しました。12日は、令和5年度決算を審査し、十分な質疑を行った結果、反対討論の発言はなく、全会一致で決算に係る10議案を原案のとおり認定しました。

続いて13日は、令和6年度補正予算を審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。予算第22号については、山佐産業株式会社からの寄付により新たに「新見市2024かしのき基金」を創設し、積立を行うための10億12万9千円の補正額を含む、歳入歳出ともに22億4887万7千円の補正予算の審査でした。討論では、明るい未来、輝く子どもたちのための予算であることが理解されたとの賛成討論がありました。

会期末日の25日は、8月末の台風10号に対する復旧予算を含む追加議案で上程された予算第29号令和6年度新見市

一般会計補正予算（第4号）を審査しました。討論では、反対の発言はなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

12日 付託事件の審査（決算） の主な質疑

●決算第1号 令和5年度新見市一般会計歳入歳出決算

●委員問 ふるさと納税推進業務委託料2580万2588円の内訳は。

●答弁 さとふる、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、ふるナビなどポータルサイトへの委託料である。

●委員問 総務費電算システム機器保守委託料4616万3700円の具体的な内容は。

●答弁 保守委託料である。総合行政システムで日立システムズ岡山支店に約2800万円を支出。もう1点が庁内ハードウェアの保守委託料でサーバー保守や各フロアスイッチ、LEDセキュリティ対策をNTT西日本に委託し

ているための約1700万円
がその内容である。

委員問 地域バス対策費の
供託金について説明を求め
る。

答弁 バス停として借り上
げていた土地の所有者がなくな
ったことで発生している。

委員問 毎年発生するのか。
答弁 バス停の場所を変更
するので今後は、発生しない。

委員問 中学校管理費の報
酬、会計年度任用職員の報酬
141万7600円の内容は。

答弁 新見第一中学校、大
佐、哲多中学校の剣道、バレー
ボール、野球の部活動指導員
の実働費である。

委員問 新見駅周辺まちづ
くりにぎわい創出事業の委託
内容と事業評価は。



多くの人で賑わった
2024リバーサイドバーにいま

答弁 新見まちづくりカン
パニーに委託している。リ
バーサイドバーの開催とクリ
スマスママーケットの開催につ
いての委託である。駅周辺に
人の流れを増やすことができ、
今後も持続可能なイベントと
なるよう大学生を含め、考え
ていきたい。

13日 付託事件の審査（予算） の主な質疑

●予算第22号 令和6年度新
見市一般会計補正予算（第3
号）

委員問 空き家活用推進事
業補助金6千万円の補正予算
であるが、現在の状況は。

答弁 購入については、14
件で移住7件、市民7件の内
訳である。改修は、13件で移
住8件、市民5件となってい
る。当初予算を超える相談件
数が12件あり、500万円の
上限で6千万円を計上してい
る。

委員問 公債費の繰り上げ
償還の考え方は。

答弁 財政融資資金と地方
公共団体金融機構からの借り

入れについては、利率の見直
し時に繰り上げ償還をすると
補償金がいらないので、利率
見直し時に利率が上がるもの
から償還していく考えである。

委員問 畜産業振興費の哲
多堆肥供給センター施設整備
事業補助金の297万7千円
の内容は。

答弁 リース機械の買取価
格についての補助金額である。

委員意見 使用者は、哲多
堆肥センターであるので、応
分の分担金を払うべきである。
他の施設においては、分担金
を払っているところもある。
この点を指摘しておく。

●予算第27号 令和6年度新
見市観光事業特別会計補正予
算（第1号）

委員問 観光費の羅生門駐
車場の土地購入費11万9千円
について、面積と台数はどの
ようになるのか。

答弁 594㎡で30台分を
確保し、全体で72台分確保し
た。

25日 付託事件の審査（予算） の主な質疑

委員問 ワークセンター阿
新の倉庫改修の理由は。

答弁 現在41名の方が登録
されているが、雨天時など現
在の作業スペースでは、手狭
であることから、倉庫改修に
よりワークスペースを確保す
るもの。

委員問 台風10号の状況に
ついて説明を求める。

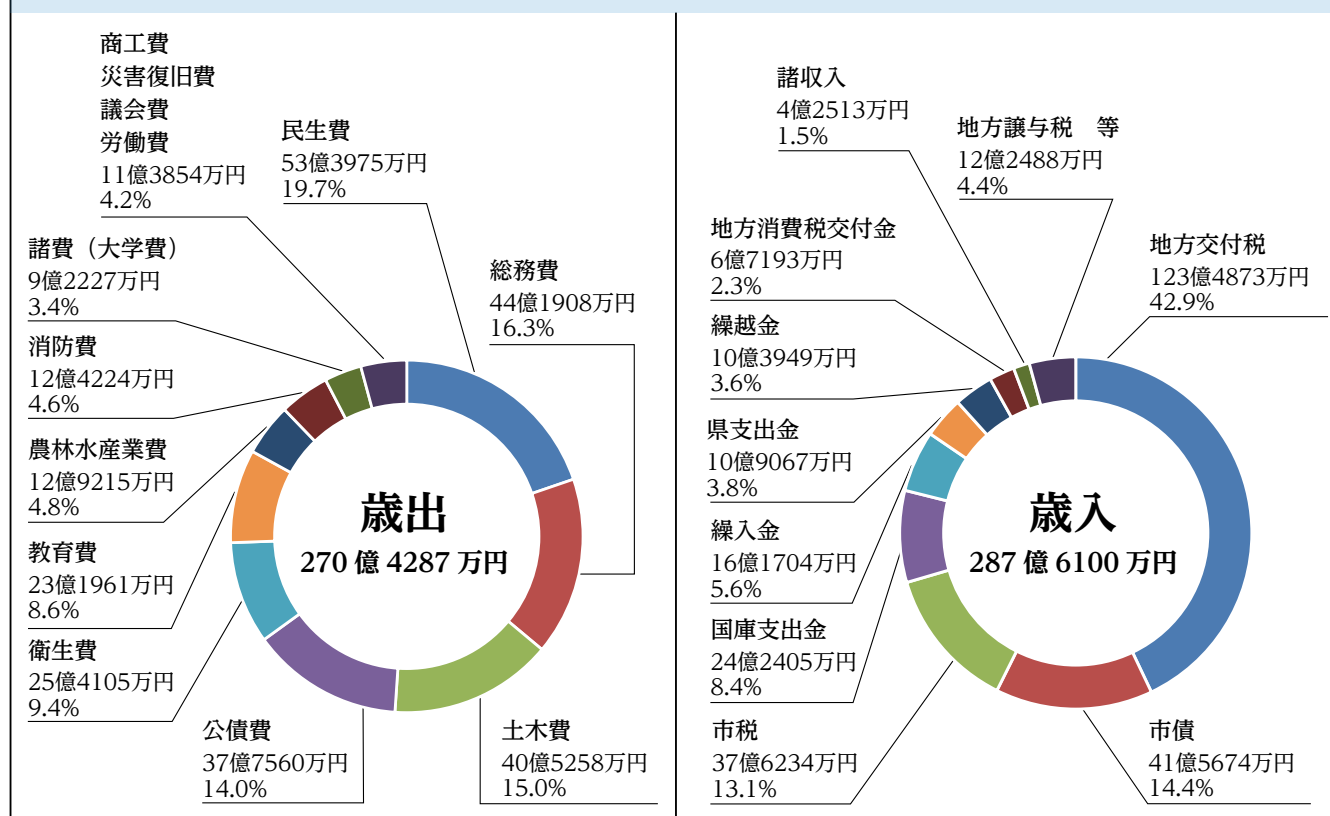
答弁 8月30日から31日に
かけて時間雨量30mm、24時間
雨量80mmで市内では最大13
0～140mmの時間雨量が観
測された。災害対策本部は、
設置していないが、報道等
には被害状況の取りまとめを報
告した。



台風10号の被害を受けた農地

令和5年度普通会計決算を下記のとおり認定しました

形式収支は17億1813万円の黒字になりました。



国に意見書を発議

発議第7号 持続可能な学校の実現をめざす意見書

【要望事項】

学校の働き方改革推進のため、次の事項を実施すること。

1. 教職員の負担軽減を図る観点から、国として具体的業務削減策を示すこと。
2. 部活動の地域移行をさらに進めること。
3. 学習指導要領の内容の精選やそれに伴う標準授業時数の削減等を行うこと。
4. 教職員定数改善を実施すること。
5. 自治体での働き方改革の取組が確実に進むよう、人の配置・確保も含め、推進のための必要な財源確保等を行うこと。
6. 教職員の命と健康が守られる法制度の整備を図ること。
7. 今後も定期的に勤務実態調査を行うこと。また、その結果に基づき必要な措置を講ずること。

議長、副議長の改選により、各委員会の構成が替わりました。
詳しくは右の二次元コードをご覧ください。



行政視察報告

総務消防常任委員会

総務消防常任委員会では、令和6年8月5、6日の2日間、大分県日田市、福岡県久留米市を視察しました。

日田市の移住・定住施策

1日目は、大分県日田市役所で移住・定住施策について視察しました。

日田市は、県外からの移住者数が6年連続(H28、R3)大分県内第1位、令和4年度及び5年度は、それぞれ1508人、1714人で、いずれも大分県内では大分市に次いで第2位となっています。

同市は、移住・定住に係る相談・支援のワンストップ窓口の設置や雇用と連携した取組を進めるために担当部署の組織改編を行うなどの様々な取組を行っています。

また、民間のボランティア団体「ひた暮らし応援団」を設立し、市民目線での移住相



大分県日田市の視察研修の様子

談会や移住希望者との交流会の開催等を行っています。

さらに、移住後の地域住民とのトラブル等を減らすため、移住者を受け入れたい地域を募集する際、地域全世帯の受入れの同意を取っていました。また、地域での交流会等を通じて、移住希望者に当該地域のことをよく理解してもらうことから、移住手続きを進めているようでした。

なお、移住者には、移住奨励品として5千円の商品券を支給しています。

移住する人は、移住前から日田市と何等かの関係を持っている人が多く、日田での暮らしに魅力を感じて移住する人が多いということでした。

日田市の移住・定住対策を

視察し、移住希望者と移住を受け入れる地域のマッチングが、移住・定住を推進する上で大切であると感じました。本市におきましても、事前の情報提供や交流の機会の提供を充実させる必要があると感じました。

久留米市のふるさと納税

2日目は、福岡県久留米市役所でふるさと納税について視察しました。

久留米市のふるさと納税寄附受入額は、令和5年度が約17億3800万円です。寄付額・寄附件数の大幅増加に伴い事務量が大きく増加したため、令和4年度からふるさと納税に関する業務(寄附の受付やサイト掲載、返礼品の受発注や配送等)を包括委託し、業務の軽減を図られました。

返礼品は現在約1300弱のアイテムを揃えています。福岡いちご「あまおう」などの「モノ」だけでなく、人間ドックや農業体験、花火の特別観覧席など体験型の「コト」の返礼品にも力を入れています。



福岡県久留米市の視察研修の様子

す。体験型の返礼品の申込みは年間24件程度で少なく、なかなか伸びないとのことでしたが、ふるさと納税者に久留米市を訪れてもらうことによる経済的な波及効果も期待し、様々な体験プランを開発されています。

ふるさと納税については、総務省通知によりこれまでも幾度か軌道修正が図られてきているところではありますが、寄附受入額だけにこだわるのではなく、本市の特産品や地域の魅力を全国に発信する手段として、本市におきまして、効果的に制度を活用していくことが肝要であると考えます。

9月
定例会

一般質問



(議員紹介)

日本共産党

はしもとぎょうこ
橋本亨子



財政健全化について

問 令和5年度の一般会計決算状況はどうか。

答 歳入歳出で令和6年度に繰り越す財源を差し引き約14億円の黒字で健全運営を維持している。

市債の発行額状況は。

答 令和4年度比で約7億9千万円増えたが、平成30年度と令和元年度の豪雨災害への防災対策を集中的に実施したことによるもの。後年度に影響することはない。

問 今後の普通建設事業を推進する上での留意点は。

答 普通建設事業は、毎年財政計画を策定し年度間の事業費の平準化に努めている。

問 市債は、建設事業等に充てる新規発行額が償還額を超過しており、今後計画事業の推進には市債残高を縮減すべきでは。

答 起債の繰り上げ償還をしていく。

問 財政調整基金約47億9千万円の活用への考えは。

答 年度当初に財源が不足する場合活用し、また積み増し45億円は確保していきたい。

金谷地区の区画整理事業について

問 事業の実施状況はどうか。

答 令和7年度の事業認可を目指し国・県と協議中で今年度中に市民へ縦覧する。

問 事業費、財源の見通しは。

答 事業計画案を策定中で検討しているところ。

問 国道180号線から橋を架ける事業との関連性は。

答 お尋ねの橋は区画整理事業と併せて整備する。

問 橋だけを架ける場合の事業費は。

答 橋は約100メートルで10億円程度を想定している。

問 区画整理事業の必要性をどう考えるか。

答 人口減少問題対策に必要な施策と考える。

マイナンバーカードの健康保険証(マイナ保険証)について

問 「12月2日から保険証が発行されなくなるのか」と不安な思いが広がっている。市民が安心して医療にかかれるよう正しい情報提供が必要ではないか。

答 12月2日以降は申請不要で従来の保険証に代わる資格確認証を交付する。広報は市報11月号、市ホームページに情報を掲載し周知していく。

無所属

こがわとしふみ
小河俊文



新見市中小企業・小規模企業振興基本条例に掲げる責務について

問 工事の発注、物品及び役務の調達を行うに当たり、条例に則って市内の事業者の受注機会の拡大に努めているか。

答 全庁を挙げて取り組んでいる。

問 工事等の入札の条件は。

答 市内の事業所を指名し、入札している。市内業者で賄えない場合はその限りでない。

都市計画税について

問 都市計画税の使途及び本税を使う今後の都市計画についてどのように考えているか。

答 公園の整備や公共下水道の維持管理に充てている。

新見市移住交流支援センターについて

問 同センターは油野小学校の跡地に開設しているが、場所の問題はないか。

答 現在の指定管理が令和8年3月に終了するので、それまでに適正な開設場所についても検討を行う。

新見高校の存続について

問 存続に向けての対策と今後の方針は。

答 高校の魅力化に向けて鋭意努力していく。



新見駅周辺について

問 バリアフリー化に向けたJRとの協議の進捗状況は。

答 利便性や経済性を考慮しながら、さまざまな整備計画を想定し、具体的にレイアウトや事業費について協議を重ねている。

問 新見美術館の移転についての考えは。

答 老朽化が進む中、収蔵庫や展示スペースなどの問題を考慮しながら、移転も含めて検討していく。

補助金交付団体への職員派遣について

問 補助金交付団体への職員派遣は議会を無視した補助金の増額につながるのでは。

答 条例に則って対応している。

新見千屋温泉いぶきの里について

問 利用者のうち新見市民の占める割合及び市内への経済

効果は。

答 年間利用者約9万人のうち割引券等の利用状況から新見市民の占める割合は約3割程度と見ている。

経済効果については市内での食材等の購入、人件費、送迎バスの運行など合わせて1億1千万円程度を見込んでいます。

問 指定管理料を含めて今後の指定管理の考えは。

答 今後の経営状況を見ながら総合的に判断していく。

無所属 みんなのいみ
にし かわ てる お
西川 照雄



新見産材の需要拡大について

問 新見産材のぬくもりを活かした家づくり支援事業の新築と増改築の過去3年間の実

績はどのようなものか。

答 新築について令和4年度、5年度とも13件、令和6年度は、8月末時点で1件の申し込みである。増改築は、実績がない。

問 この事業は、市外業者が施工する場合には、助成されない制度設計となっている。住民からの声の中には、市外業者の場合にも助成されるようにならないかという切実なものもある。補助率の割合を下げるなどの工夫により、対象としている自治体もある。住民の声にどのように対応されるのか。

答 市外業者も助成対象とする拡充は、考えていない。

提言

この事業の主旨は、新見産材の使用促進と需要拡大にあるので、建築主のニーズをくみ取った事業運営に努められることを強く求める。

問 新見市木造住宅建築業者支援事業の増改築の過去3年間の利用実績がない状況であるが、これをどのように捉

えているのか。

答 新見産材を多く使用する工事が、少なかったことが原因であると考えられる。

問 この事業では、新見産材の使用について1㎡あたり2万5千円の助成がある。諸物価高騰の影響から、これを見直す考えはあるか。

答 建築コストの上昇を認識しており、補助金の増額を検討したい。

問 新見産材の定義について、持続可能な森林と地域特性の明確化の観点から、再造材やJAS規格を要件に取り入れることが考えられないか。

答 各事業が、円滑に推進されていることから、定義の見直しは、考えていない。

問 市内製材所が、JAS認証を取得する場合、経費の一部を助成する考えは。

答 林業資格取得支援事業を活用され、木材乾燥士などの資格取得を支援できると考える。



無所属 絆民クラブ

みやもと ひで き
宮本英基



JR新見駅のバリアフリーについて

問 JR新見駅バリアフリーについて、平成28年から同僚議員を含め何回も一般質問をしている。執行部の答弁は、毎回「JRと協議を進めている」である。

このままでは、何年経ってもJR新見駅はバリアフリーにならないと感じている。早急にできない理由は何か。

答 一番は費用である。

問 倉敷市の西阿知駅を参考にするエレベーターを1基設置に約1億1千万円である。新見駅の場合は、3基で3億3千万円できると思う。通路は西阿知駅より長いので、

いくらかは事業費が上がるが、低コストでバリアフリーが可能であると考ええる。市長の考えは。

答 提案も含め、バリアフリーは長年の課題である。早期実現に向けて取り組む。



西阿知駅(倉敷市)に設置されているエレベーター

インターネットの環境について

問 県内のインターネット回線について、10ギガサービス提供のめどが立っていないのは、県内で新見市と美咲町だけである。本市の考えは。

答 平成30年にソフトバンクとの10年契約を更新し、サービスを提供してもらっている。各通信業者の情報収集に努め、令和10年から市民の利便性向

上につながる最新の環境を導入したい。

安全安心なまちについて

問 防犯カメラ導入補助金の新設はできないか。

答 防犯カメラ設置は犯罪抑止に期待できる。地区総代を対象に行ったアンケートでも9割が抑止効果ありとの回答だった。また、県内でも半数の自治体が制度を設けている状況であるため、本市も積極的に取り組みたい。

無所属

ふるかわ ひで あき
古川英明



大規模災害発生時の孤立集落に対する施策について

問 孤立する可能性がある集

落を公表すべきではないか。
また、市としてどのような対策に取り組むのか。

【答】 孤立する可能性のある集落を広く公表するメリットはないと思うが、対象の地域にはリスクを知ってもらうため、伝える方法を具体的に検討したい。市としては、アクセス道路の防災工事や護岸整備など、社会資本の強靱化に取り組み、孤立する要因の減少に努めていきたい。

結婚推進事業の施策について

【問】 結婚推進施策の現状と課題については。

【答】 結婚相談会の相談者数は、令和3年度34人、4年度20人、5年度29人、オンライン縁結びサポート事業の登録者は、3年度13人、5年度10人、カップリングパーティー参加者は、3年度17人、4年度17人、5年度17人、



度16人であった。新型コロナウイルスの影響もあったが、オンライン縁結びサポート事業は一定の成果があったと考える。

【問】 どのような改善をすれば、婚姻数の改善が図れるか。

【答】 一定の成果をあげているオンライン縁結びサポート事業の広報を強化したい。また、効果が期待できるカウンセリングの強化も図っていきたい。

【問】 婚姻者の4人に1人がマッチングアプリを利用している状況だが、補助の対象にならないか。

新見高校の魅力化推進事業について

【問】 魅力化推進事業（資格取得助成、部活動専門人材派遣、留学支援）の進捗状況は。

【答】 8月末現在、資格取得助成金の申請は2件。部活動への人材派遣は1件。留学支援の申請は問い合わせがあったが申請はない。いずれも今年

度から始めた事業なので、件数の推移を注視しながら広報に努めたい。

【問】 本年度の取組が、魅力化に繋がっているか。子どもの声を聞くことも必要でないか。

【答】 高校の魅力化は、高校生が対象者なので、今後、高校生の意見を聞く機会を持ちたい。

無所属 民権クラブ
つちや すすむ
土屋 将



ふるさと納税について

【問】 過去3年間の実績及び評価は。

【答】 実績は令和3年度が3222件で6652万円、4年度が5382件で1億157万円、5年度が6521件で

1億3252万円。市内事業者の協力による返礼品数の増加やウェブ広告の充実によって令和3年度の約2倍の実績を上げている。

【問】 鳥取県江府町の奥大山の天然水は6億円の売り上げを上げている。本市も同様に取組んで。

【答】 本市には天然水を扱う企業がないため、返礼品にすることができない。

【問】 ブドウ狩り、廃校を使ったドローン学校、たたら製鉄体験など体験型の返礼品を増やし、交流人口を増やしては。

【答】 本市においても、新見千屋温泉いぶきの里の宿泊やグランピング、洞窟体験ツアーなどを登録。体験型返礼品は誘客促進の観点でも重要と考えており、今後も充実を図る。

高齢者等タクシー利用助成事業について

【問】 昨年度及び今年度の実績は。

【答】 令和5年度は交付400人の内84%の336人が利用、

助成券発行額720万円の内、64・8%の466万円を執行した。今年度は7月末時点で交付645名の内、74・3%の479人が利用した。発行額2284万円に対して25・8%の589万円を執行している。

問 昨年の利用率が100%とならなかった理由は。

答 生活環境の変化や入院など利用機会がなかったことが考えられる。1月に期限を知らせて利用を促したが、この利用率となった。

問 75歳以上の方には市から免許の有無を確認するだけで助成券を交付できないか。

答 プッシュ型の助成券交付は、免許証の確認など個人情報上の取り扱いの問題もあり、考えていない。



新見高校の魅力化について

問 今年度の新見高校の入試状況の評価と対策は。

答 全学科で定員を下回る残念な状況。新見高校は今年度から情報発信の強化を図るため、地域連携広報室を大幅に増員し、広報に力を入れていく。市としても支援していきたい。

公明党

いわ 田 秀之



市長の市政に対する想いと覚悟について

問 市長は二期目に向けて出馬表明されたが、一期目公約進捗を踏まえて次期では次の項目をどのように「継続させて、充実する」のか。

まず、本市最大の課題でもある**人口減少対策**については。

答 人口減少対策については、最大かつ喫緊の課題であると認識している。そのため、「ヒト・モノ・カネが流入するまち」を一期目の公約に掲げ、実現に向け様々な取組をしている。

中でも、子育て支援や不妊治療への充実、小中学校の学校給食費実質無償化などに取り組んでいる。

問 稼げる地場産業の振興については。

答 農業分野では、園芸品目を中心に新規就農者の確保につながる支援を引き続き充実させ、担い手確保につなげていく。ピオーネについては、積極的にトップセールスを行い、海外を含めた販路の開拓及び拡大を図っていく。

観光分野では、増加が見込まれるインバウンド需要を地域経済に取り込み、活性化につなげていく。また、観光ニーズは、モノ消費からコト消費志向への変化など多様化しており、観光コンテンツの掘り

起こしに取り組んでいく。

問 あらゆる世代の人たちの健康で心豊かな社会づくりの今後のビジョンについては。

答 今後のビジョンについては①若年女性の人口増加、②年齢、価値観、ジェンダー、障害の有無など関係なく共生できる社会、③あらゆる面で女性が輝き活躍する新見市、④赤ちゃんやお年寄りが社会の中心にいる温かい環境づくり、⑤健康寿命を延ばすためのプロジェクト、⑥放課後児童クラブと「こども誰でも通園制度」の充実で共働き世代を応援していく。

問 二期目のリーダーとしての覚悟は。

答 二期目においても本市の現実をしっかりと見据え、本市の強み弱みを的確に把握し、時代に即応した新たな制度を複合的に組み合わせて、人口減少を鈍化させ、現状維持、ひいては人口増加に向けて英知を集結していく考えである。





中学校部活動の休日地域移行について

問 中学校部活動の休日地域移行について、当初の実施時期と現在の実施時期の変更状況はどのように変わったか。

答 令和2年9月の文部科学省の通知では令和5年度以降、段階的に地域移行を図ることが示された。令和4年12月には令和5年度から令和7年度を「改革推進期間」として可能な限り早期の実施を目指すことが示された。

問 令和5年12月議会において、令和6年度に「新見市部活動地域移行推進委員会」を設置するという答弁があったが、実施状況はどのように

なっているのか。

答 委員の選定、課題の洗い出し、他市町村の状況把握などの準備を行い、11月中旬に設置することになっている。

問 生徒、保護者、関係者は今後の「中学校部活動の休日地域移行」の動向を心配している。現在の進捗状況を伝えるとともに当事者からの相談に対し説明ができる体制が必要と考えるがどうか。またその窓口はどこになるのか。

答 各学校を通じて説明を行う。また、窓口についてもまずは、地域の学校になる。

問 「新見市部活動地域移行推進委員会」の設置が11月であるということは、国が位置付けている「改革推進期間」の令和7年度末まであと1年半である。それまでに「中学校部活動の休日地域移行」の体制が出来る上がるとは考えにくい

が、どのように取り組んでいくのか。



答 できるだけ実施を目指したい。「新見市部活動地域移行推進委員会」において議論を重ね、地域の実情やそれぞれの種目の状況に合わせ、中学生が安心してスポーツや文化活動に取り組めるよう早期に移行を進めるとともに、持続的な環境整備に努める。

よしと



本市の景気判断と景気対策について

問 新見市行政の本市景気の判断方法を聞きたい。皮膚感覚で景気観測する民間の「景気ウォッチャー」を市独自に設けてはどうか。

答 県商工会議所連合会の県内景気観測調査、市内商工団

体との定例会を通し把握している。景気ウォッチャーは、本市景気を判断する上で重要と思うので今後、関係団体との協議を進めたい。

問 製造販売コストが上昇し、事業者の利益を圧迫している。「一みんポイント」にかかる加盟店の換金手数料3%を当面行政で負担してはどうか。

答 現状を見た時、検討したいが、すぐに行政で負担は考えていない。

「森の芸術祭」後の考えについて

問 森の芸術祭後を見据えた本市の考えを聞かせてほしい。

答 多くの人が本市の魅力に触れることで、来年の大阪万博や瀬戸内国際芸術祭の際、本市再訪の可能性が生まれる。回を重ね内外の認知度や評価は高まる。継続開催を県等に働きかけたい。

問 鍾乳洞と地域資源を活かし総合的な体験プログラムづくりを考えてはどうか。

答 その土地の歴史文化、自

然を深く味わうアドベンチャーリズムに同感。本市には鍾乳洞や清流、貴重な動植物など多くのコンテンツがある。新たな体験プログラム開発に向け、関係事業者と協議していきたい。

問 井倉洞の溪谷に巨大スクリーンを掛けて野外シアターやプロジェクションマッピング、洞内のナイトケービングを企画してはどうか。

答 素晴らしい提案。関係団体としっかり協議したい。



森の芸術祭会場の満奇洞

文化財指定提案のその後について

問 岩山駅舎の国登録有形文化財に向けた取組はどうなっ

ているか。

答 昨春秋、文化庁担当調査官の現地調査、登録に向け協議を行った。本年度は現地詳細調査、文献調査、関係者との調整を行い、早い段階で申請を目指したい。

無所属

たわだかずや
田一也



来てよかった、帰ってよかった、元気な新見を実現するために

問 現行の移住定住施策で充分と考えるか。

答 移住交流支援センターによる移住相談、移住オーダーメイドツアー、お試し暮らし支援事業や空き家活用推進事業などに取り組んでいる。令和6年度からは、市内事業所

に就職した新規学卒者やIJ-Uターン者に対し、奨励ポイントを交付するなどの施策の充実に努めている。子育て世代の定住支援に力を入れており、令和6年度からは給食費の実質無償化や新見市版「こども誰でも通園制度」などを開始している。今後もニーズを見極めながら施策を講じていきたい。

問 現行の「空き家活用推進事業補助金」では、Uターン者は3親等以内の所有物件の場合、改修補助金が活用できない。制度の見直しの考えがあるか。

答 現在の改修工事には、新見産材の活用による補助制度もある。利用してほしい。要件の見直しについては今後調査研究していきたい。

問 今後の移住者数の具体的な数値目標や計画はあるか。

答 具体的な数値目標は定めていないが、今策定中の第3次総合計画の後期行動計画では、人口の社会増減数を現在の173人減から5年後には150人減に抑制する目標を

立てている。転入者を増やす一方で、転出者を抑制して、社会減を少なくしていきたい。

問 移住希望者にアピールできる新見の宝は何であると考えるか。

答 人と人とのつながり、つまり人だと考える。市民の温かい対応が移住の決め手になったケースがあると聞いている。宝を守り移住希望者を選んでいただける街として元気な新見を実現するために、各種施策に取り組んでいきたい。豊かな自然も宝の一つだと考える、子供の時の体験は生涯忘れられないものになる。一人でも多くの移住者、Uターン希望者を募ることができるように、より一層この宝を磨いていきたい。





農畜産業戦略について

問 「にいま源流米」のブランド化については戦略的取組が必要ではないか。

答 J Aとも連携しながら「にいま源流米」の差別化を図られるよう粛々と検討していきたい。

問 スマート農機と連動して衛星データとAI分析による栽培管理ができる支援システムが、どの農家にも導入できるようならないか。



答 スマート農機事業について、お尋ねのソフト面も対象となるよう早急に検討する。

問 千屋牛のブランド化の戦略的取組を示していただきたい。

答 ブランド化に対しては年間800頭程度を確保しなくてはならないので、今後も増頭を推進していく必要がある。国に対しても支援を求めている。

第3次総合計画後期行動計画の策定について

問 第3次総合計画の後期行動計画策定に向けて、総括的な課題と策定手順を示していただきたい。

答 人口減少のさらなる対策に加え、新型コロナウイルス、デジタル化、脱炭素など急速に変化する社会情勢への対応が必要と考えている。まちづくり審議会への諮問やパブリックコメントを経て今年度末の策定を目指す。

芸備線再構築協議会について

問 JR芸備線を考える高校生サミットに参加した高校生らが提案した次の点について、
○貨客混載を含めた貨物輸送に関する実証を芸備線で実施する。

○自転車やベビーカーが積載できるバリアフリーでエコな車両の開発と実証を行う。
○新見―広島間の直行便の運行を行い、使いやすいダイヤへ積極的に改正し利便性を高める。

○新見駅発着の車両にキャラクタラッピングを行う。
これらを、芸備線再構築協議会に対して強く主張するべきではないか。

答 参加した市内の高校生に感謝している。再構築協議会でも実証事業の検討が行われるので、内容を精査して、しっかりと高校生の声を届けたい。

12月定例会(予定)

24日 (火)	23日 (月)	20日 (金)	19日 (木)	18日 (水)	17日 (火)	16日 (月)	13日 (金)	12日 (木)	11日 (水)	10日 (火)	9日 (月)	12月 3日 (火)
本会議 閉会	議会運営委員会	委員会(予備日)	議会広報特別委員会	J Rローカル線利用促進・ 存続問題検討特別委員会 議員のなり手不足検討特別 委員会	予算決算常任委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務消防常任委員会	本会議(予備日)	本会議・一般質問	本会議・一般質問・議会運 営委員会	本会議 開会

令和6年9月定例会 審議結果

会期8月29日～9月25日（28日間）

前年度決算10件、条例3件、補正予算8件、議案5件、陳情1件、発議2件、人事1件を審議!!

●賛否が分かれた議案等

種類	件名	付託先	結果	議員名													
				土屋 将	林 司朗	峠田 一也	仲田 芳人	西川 照雄	宮本 英基	小河 俊文	岩田 秀之	藤澤 正則	林 光和	塩飽 満路	橋本 亨子	榎 日出男	岡崎 裕生
条例	新見市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
議案	岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
発議	新見市議会議員一般選挙を新見市長選挙に併せて同時に執行するための措置を講ずる決議(案)	—	否決	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	

※「○」は賛成、「×」は反対。議長は採決に加わりませんが、上記発議は可否同数で議長が決しました。

●全会一致の議案等

種類	件名	付託先	結果
決算	令和5年度新見市一般会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市診療所特別会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市介護保険特別会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市観光事業特別会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市豊永財産区特別会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市萬歳財産区特別会計歳入歳出決算	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市水道事業会計の決算について	予算決算	原案認定
	令和5年度新見市下水道事業会計の決算について	予算決算	原案認定
条例	新見市2024かしのき基金条例	総務消防	原案可決
	新見市国民健康保険条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決
予算	令和6年度新見市一般会計補正予算（第3号）	予算決算	原案可決
	令和6年度新見市診療所特別会計補正予算（第1号）	予算決算	原案可決
	令和6年度新見市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	予算決算	原案可決
	令和6年度新見市介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算決算	原案可決
	令和6年度新見市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	予算決算	原案可決
	令和6年度新見市観光事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	原案可決
	令和6年度新見市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	原案可決
	令和6年度新見市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	原案可決
議案	字の区域・名称の変更について	産業建設	原案可決
	令和5年度新見市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	予算決算	原案可決
	令和5年度新見市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	予算決算	原案可決
	動産（除雪トラック）の買入れについて	産業建設	原案可決
陳情	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について	文教福祉	採 択
発議	持続可能な学校の実現をめざす意見書（案）	—	原案可決
人事	人権擁護委員の候補者の推薦について	—	原案同意

市民の声

みなさん、こんにちは。「市民の声」コーナーです。担当議員が皆様の元に出向き、インタビュー形式でご意見要望等を伺いました。
今回は、60代男性（哲多）にお話を聞きました。

■「議会だより」の感想は？

「議会が変わればまちが変わる」と表紙の下段に記載があります。市議会だよりは、市報に違い、定例会審議結果・各種委員会報告で新見市の動きが分かります。また、一般質問で議員の方々が市民の声を反映した質問をされており、それによって、まちが少しずつ変わっていることが分かります。

■議会への要望は？

市議会の映像を公式YouTubeチャンネルでインターネット配信する試みが、6月定例会から開始されています。iチャンネルでの放送がありますが、今の時代は仕事や家事・育児などで多忙な人も多く、自分の空いた時間に議会の様子を見ることができYouTube動画は視聴しやすいです。

高齢者や若い世代など広く、公式YouTubeを視聴できるよう周知・広報していただきたいです。

■市政への意見要望は？

中国山地のこの地域が一つのまちとなり20年余り、日本の戦後80年余りの現代社会は仕事も多様化し、都会・人口が多い地域で生活する人が増えてきました。60年前は車に乗れる人も少なく、バスと鉄道を利用し周辺の人たちが新見へ買い物・映画・パチンコ・食事と出かけることが多かったです。半世紀経つと岡山・倉敷に出掛けることが随分増えました。

田舎から都会への移住が増え、新見市は過疎化・高齢化が進んでおりますが、新見には素晴らしい自然があります。新見の自然・四季の変化を見ることができ、地域・場所を、市内10か所に創ることはできないでしょうか。新見の美しい自然を感じることができ、場所の創設です。

山林の維持管理には多くの費用が掛かりますが、都会にない自然景色を見ることができ、まちとしてPRしてはいかがでしょうか。新たな暮らしが見つかるまち「新見」を全国的に紹介してください。

いつでもどこでも
本会議映像を！！



右の二次元コードからユーチューブの
新見市議会公式チャンネルをご覧ください。



ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501
新見市新見 310-3
電話：0867-72-6151
FAX：0867-72-6183



メール
gikai@city.niimi.lg.jp

編集後記

新見市を応援する企業から新見市へ寄付金を頂きました。金額が10億円です。「新見市2024かしのき基金」として市内の小中学校、高校、大学に通う児童、生徒、学生の支援及び学力向上のために使ってほしいとのこと。ぜひ、子どもたちの未来のために、より有意義に活用してほしいものです。

さて10月28日から11月24日まで県北を舞台とした森の芸術祭が開催されています。ぜひこの機会に皆さんも新見の良さを新発見、再発見し、芸術を楽しんでいかげでしょうか。新見市もしっかりと内外にPRを行い、にぎわい創出につながることを期待しています。

この度、9月議会において、議長、副議長が改選されました。議会も明るい未来、輝く子どもたちのために頑張っていきますので、どうぞご期待ください。

最後に11月8日、9日の2日間、今年度議会報告会を開催します。今年のテーマは「女性が生き生きと輝けるまちづくり」です。より多くの市民の皆さんの参加をお待ちしておりますので、よろしく願います。

（林 司朗）